
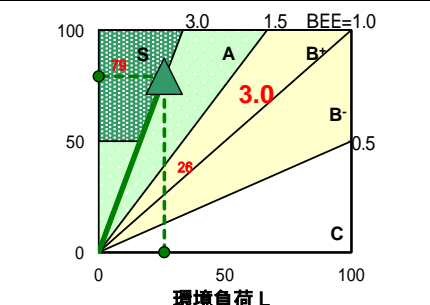
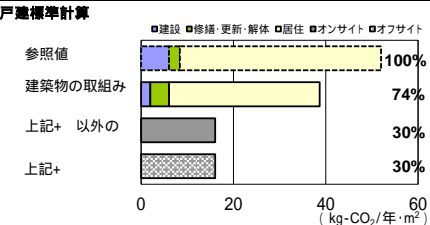
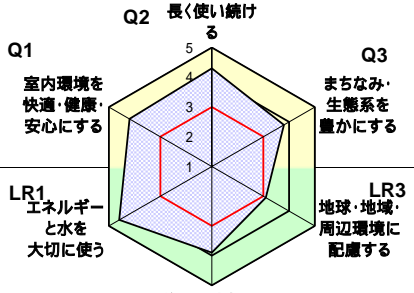
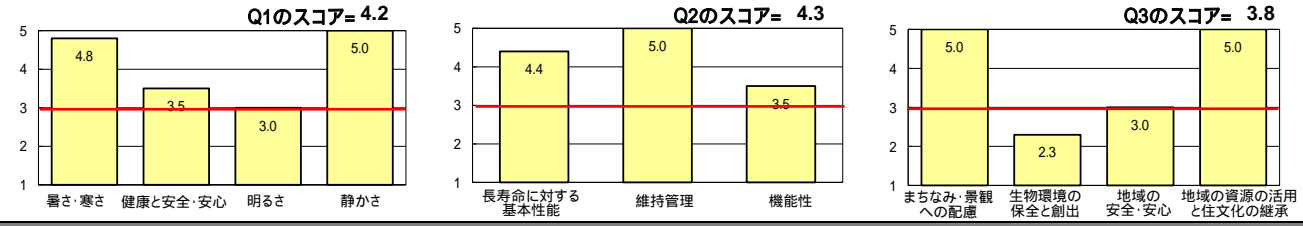
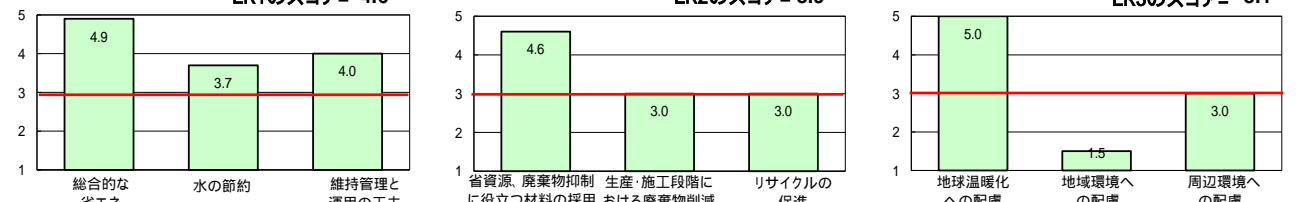




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮
竣工年月	2020年10月	竣工	<備考>		
建設地	横浜市瀬谷区下瀬谷3丁目				
用途地域	第1種低層住居専用地域	確定			
省エネルギー-地域区分	6地域				
構造・構法	木造	確定	評価の実施日	2020年3月23日	
階数	2		作成者	神奈川エコハウス(株) 井上	
敷地面積	193 m ²	確定	確認日	2020年3月23日	
建築面積	72 m ²	確定	確認者	神奈川エコハウス(株) 井上	
延床面積	122 m ²				
世帯人数	6	確定			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE ≧ 3.0 ★★★★★</p> <p>S: A: B+: B-: C:</p>  <p>環境負荷 L</p>	<p>★★★★☆</p> <p>0% ~50% ~75% ~100% 100%超</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> 

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする Q1のスコア= 4.2</p> <p>Q2 長く使い続ける Q2のスコア= 4.3</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする Q3のスコア= 3.8</p> 		
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う LR1のスコア= 4.6</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR2のスコア= 3.9</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LR3のスコア= 3.1</p> 		

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>建物高さを抑え、切妻屋根にすることで、周辺家屋に溶け込む住宅としている。道路面の外構については、塀で囲う閉鎖的なものせず、植栽を入れたり見通しを確保するなど、周辺環境に配慮した計画とした。建物は構造躯体に神奈川県産材を使用し、室内に柱や梁を見せ、無垢フローリングと漆喰壁を中心に自然素材を多用、更にZEH認定を取得した高断熱かつ省エネルギーな仕様で、居住者や環境に優しい住宅を実現している。</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>樹脂サッシ+LOW-Eガラス採用でU値0.43W/m²K 断熱等級4確保、二方向の開口配置による適切な通風計画、主要居室のACによる適切な冷暖房計画 無垢フローリング使用、適切な第3種換気による健康配慮、居間南面の大開口サッシによる明るさ確保</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>劣化対策等級3、耐震等級3、耐火等級2確保 維持管理対策等級3確保、給水、給湯ヘッパ方式採用、定期点検・情報管理システム採用 高齢者等配慮対策等級2確保</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>3.5寸切妻屋根、2階建て、白系外壁色、圧迫感の無い外構計画による、まちなみ・景観への配慮 緑化による生物環境の創出 南側道路に対するスベ-ス、見通しの確保による地域の安全・安心に配慮 構造躯体、造作材の県産材使用による地域の資源活用</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>外張断熱工法、太陽光発電システム、電気便座、IHクッキングヒーター、使用による省エネ配慮 節水トイレ、節水水栓、使用による水の節約配慮 取扱説明書手渡し、太陽光発電システム+HEMSの設置による維持管理と運用の工夫</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>屋外デッキ、構造体全てに「持続可能な森林から産出された木材」を使用、外装材にガルバリウム鋼板+アスファルト+フィンク、無塗装アイソック、フェノールフォーム断熱材、内装材に接ぎ板パネル、石膏ボードの使用による、省資源、廃棄物抑制に配慮</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>給湯設備、エアコン室外機、と隣家開口部の位置の配慮による、周辺環境への配慮</p>



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

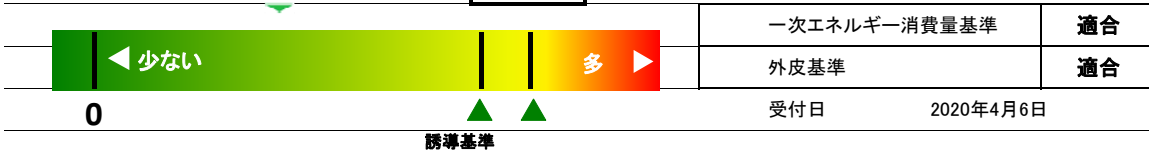
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】** **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **58** %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①: 外張断熱工法、太陽光発電システム、の採用
- ②: 電気便座、IHクッキングヒーター、太陽光発電システム
- ③: 太陽光発電システム+HEMS 太陽光発電システム

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】** **5**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

④: U値0.43W/m²K

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤: 各居室給気口でトイレ等から排気換気扇 第3種換気
- ⑤: 地面から2m以下の開口部において2ロック仕様のサッシを使用。

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥: 無垢板フローリングの採用

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防 災】** **4**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑦: 耐震等級3の確保
- ⑧: 劣化対策等級3の確保
- ⑨: 南側道路に対する見通しの確保

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】** **4**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

- ⑩: 3.5寸切妻屋根、2階建て、白系外壁色、圧迫感の無い外構計画
- ⑪: 緑化面積20%以上

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 2-001



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	4.1
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	4.2
1 暑さ・寒さ		4.8	0.50	4.8
1.1 基本性能		4.6	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		5.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		5.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.5	0.30	3.5
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	3.0	0.25	-
3 明るさ		3.0	0.10	3.0
3.1 屋光の利用		3.0	1.00	-
4 静かさ		5.0	0.10	5.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.3
1 長寿命に対する基本性能		4.4	0.50	4.4
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.7	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		3.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	3.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	5.0	0.30	5.0
2 生物環境の創出		2.3	0.30	2.3
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	2.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	3.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	3.0	0.20	3.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		5.0	0.20	5.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.9
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.6
1 総合的な省エネ		4.9	0.75	4.9
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	4.0	0.10	-
2 水の節約		3.7	0.15	3.7
2.1 節水型設備		4.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		4.0	0.10	4.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	5.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.9
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		4.6	0.60	4.6
1.1 構造躯体		5.0	0.30	-
1 木質系住宅		5.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		5.0	0.20	-
1.4 内装材		5.0	0.20	-
1.5 外構材		5.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		3.0	0.30	3.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		3.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		3.0	0.33	-
2.3 施工段階		3.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.1
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		1.5	0.33	1.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		1.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-